

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	アネシス西宮としての理念はあり、見やすい場所に提示をしている	○	事業方針や目標を明確化し、スタッフ個人の理解度が高まるように教育計画を作成し実施する
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員にて理念の共有については、一部のスタッフとしかできていない。	○	会議など設け認知症高齢者への支援のあり方を再確認し全てのスタッフに理解が得られるよう研修会を開催する
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	今年から地域の方に認知症の病気を知って頂く為、公民館にて認知症の講義を行っている。	○	現在、年に1回であるが、今後は回数・要望があれば積極的に行っていきたい。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域の方とすれ違おうと挨拶程度はするが、気軽に立ち寄って遊びに来て下さる関係作りにはなっていない。しかし担当の民生員の方は気軽に遊びに来て下さるようになっている。	○	イベント（餅つき・クリスマス等）の際に近隣の方に声をかけ遊びに来て下さるような関係作りを行っていく
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会・商店・学校・民生委員の協力により地域の夏祭り・公民館でのイベント・学校行事に声をかけて貰っている。	○	今後も積極的に地域とのふれあいを行っていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び 第三者評価を実施する意義を理解し、評価 を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	評価項目をサービス改善に活かせる体制作りを 行っていく
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている</p>	○	今後も継続して運営推進会議を行っていきたい。
9	<p>○市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以 外にも行き来する機会をつくり、市町とと もにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要 人にはそれらを活用できるよう支援して いる</p>	○	家族も含めて勉強会の実施にて理解を深める
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている</p>	○	虐待防止マニュアルを作成して、虐待防止に向けた 取り組みを行っていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には、入居に関するメリット・デメリットを説明して家族の協力を得ている。契約が解約される際も同様に話し合いを行っている	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者の意見が反映されたケアプランができていない。	○ アセスメントを行い、入居者の声が反映されるケアプランを作成し実行する
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	入居者の体調不良や生活の様子に変化あった場合は家族へ知らせている。また金銭の報告についても家族が面会の際に報告をさせて頂いている。毎月1回報告書を家族宛に提出している。	今後も継続して行っていく
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の希望・不満・苦情は、その都度、管理者が話しを聞かせて頂いており運営するに当たり参考にしている	○ 今後は各々の要望があるとケアプランへ反映し実行する形を取っていく。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関する会議等は、行っていないが、職員の各々の意見は聞いている。	○ 全員の意見を聞き反映できるように定期的な会議を設ける
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	緊急病院受診・イベント等の参加時には必要な時間に介護職員に来て頂いている場合がある。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者交代が2回・介護職員が退職・異動の際には入居者に挨拶はしている</p>	<p>今後も退職・異動の際は挨拶を行う。また、離職者を減らし長く勤務できる体制作りを検討する</p>
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内での研修はあるので、今後は研修会の参加を促すように実施していく。また法人外の研修に関しても積極的に促すように行っていく。</p>	<p>○</p> <p>今後は情報収集を行い、法人内・外の研修を促すようにしていく。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>西宮グループホームが3ヶ月に1度・スタッフ連絡会が2ヶ月に1度あり情報の共有はできている</p>	<p>○</p> <p>今後は研修会や見学会を行っていく</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>運営者と管理者は連絡を取り合っており、運営者の指導内容を管理者が職員へ伝えるいる状態である</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>管理者で判断できない所は運営者の意見を聞いています。また、職員の能力等の評価は管理者が行っており運営者へ報告している</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居申し込みの時点で家族からの情報収集を行い、ご本人の不安・困っている事を把握したうえで面接を行い入居して頂いている。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>介護相談等に来られた際に家族の困っている事や不安な点を聞きだしている。また、緊急性に応じて違う事業所を紹介して</p>	
25	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>家族の介護疲労・不安等を聞きだし対象者にあつたサービス事業所を紹介している</p>	<p>西宮市は横の連携が取れているので、今後も西宮市の事業所同士の情報交換を行い、適時紹介できるような環境づくりを行っていきたい</p>
26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前には必ず対象者の方と共に見学に来て頂いてい事業所の案内を行っている。また家族が希望された際はディ感覚で来て頂くケースもある。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>○利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員が入居者を支える側になっており入居者が職員を癒している事は少ないと思われる。</p>	<p>○ 職員の意識改革・勉強会の実施を行い実践できるような業務改善を行っていく</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	家族関係・家族の気持ち・介護疲労がある時は、家族へ休息を与えている。家族の精神的に余裕ができれば面会等は随時来て頂いている。又、病院受診等も協力はしてくれている		今後も家族・職員で力を合わせながら、入居者の生活の質の向上に努める
29 ○利用者と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居者と家族の関係にもよるが、家族関係の悪化を防ぎ、良い関係づくりに努めている	○	家族へ認知症の疾患を知ってもらう為に相談援助をしているが、今後も継続して説明・理解を求めている
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	GHに入居したら関係が途切れているが、中には友人の来訪がある方もいる	○	今後は入居者の習慣に合わせて、墓参り・外食・知人等の接触の場を作るように人員配置を検討したり、家族の協力を求める
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者同士の認知症のレベル・身体的なレベルも考慮して席等は配置している。またトラブルがあった時は職員が間に入っている	○	入居者同士では意思疎通が図れないので、職員が間に入りトラブルを回避できるような業務改善等を図りたい
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス終了後も連絡を取り合っているので、困った事があれば相談等をされているケースもある		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時にアセスメントを行って本人の意向を探っているがケアプランへ反映できていない。又本人の意向が難しい場合は家族の気持ちを反映させている	○	アセスメントを行いケアプランへ反映させる
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に生活暦シート・年代別の背景を家族へ依頼しているが各々によって情報の薄い方もおられるので、入居者の会話にて情報を得ている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	記録・アセスメントを行っているがケアプランへは反映できていない	○	アセスメントを行いケアプランへ反映させる
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家人の意向・本人の意向を反映させたケアプランはある。	○	今後はカンファレンスにてケアプランを作成していく、現状では計画作成担当者が入居者自身の把握に努めて家人の意向を尋ねケアプランを作成している
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	体調変化に応じた、会議・ケアプランが反映できていない	○	上記と同じ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を記録できているも、情報の共有はできておらず、介護計画にも反映はできていない	○	日々の様子を記録して会議を通して情報の共有を行い介護計画へ反映させる
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所としてできる事はしているが、できない事は家人へ依頼している	○	開設より3年経過しているため、GHでの通所・SSが現状の職員・環境で対応できるか検討する
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している			
41	○他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入居者自身のADL・家族の意向も含めてサービスの検討は行っているも、実現はできていない	○	今後も継続して違うサービス導入の為、入居者の状態に応じて家人へ説明していく
42	○地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとは連携が取れていない		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者が以前利用していた主治医へ受診して頂いたりしている。		家族の意向により、往診・受診を選択して頂いている
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	診療内科の医師が往診に来て頂いている。		内服薬の服用・対応の指示を頂いている
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護と連携を取り合っているが、適時訪問ではなく緊急時訪問なので、入居者の状態等の把握はできていないが医師との連携はできている		日常の健康管理は介護士で実施しており、隔週の往診にて主治医へ報告している
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	早期退院に向けて入院時の主治医へ説明・報告・理解を求めている。	○	病院での機能訓練等の理解を引き続き求めていく
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化・終末期の指針を作成して保管をしている。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	介護職員・医師・管理者にて話し合いは行っていない。	○	終末期に向けた会議を一度開催して話し合いを行う

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>家人へは住み替えのリスクは説明しており、持ち込む家具・入居者の大切な物を持ち込んでダメージを軽減している。又入居前に入居者自身に見学に来て頂いている</p>	
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者自身に合わせて声かけを工夫しているが、対応等については記録はできていない</p> <p>○</p>	<p>職員各々の対応等を記録へ記入して頂き情報の共有を行っていく</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>職員個々の対応により統一のケアはできていない。</p> <p>○</p>	<p>入居者自身のアセスメントを行い、ケアプランへ反映する</p>
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>パーソンセンタード・ケアはできていない</p> <p>○</p>	<p>その人らしい一面を発見して職員同士で情報の共有を行いケアプランへ反映させる</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>本人が望む場合は家人へお願いして家人同行にて行って頂いている。また近隣に美容院があるので、そちらを利用している</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューに関して入居者と共に考え食事づくり・片付けを一緒に行っている		
55	○利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	酒・タバコを禁止にはしていない。入居自身が希望がないので、検討はしていないが、祭りの際に飲んで頂いている場合がある		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	極力、オムツの使用は避けトイレ誘導を行っている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日等は決まっていないが、好きな時間帯に入浴はできていない	○	業務の改善を検討
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	不安がある際は寄り添って不安の解消に努めている。又、ベッドで寝る習慣ではない方には布団を用意している方も居る		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常生活の役割を決めているが、生活歴を生かしたケアは実践できていない。	○	生活歴を生かしたケアプランを作成して実践していく


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理ができる方でも、事業所で管理させて頂いているが、家族の意向により入居自身が持っている事もある</p>	<p>金銭管理を行える人には、預かって頂くように家人へ説明・理解を求める</p>
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>各々が自由に外出できる事は難しいが、1日1回は外出できるように実施している</p>	
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>個人・個人が行きたい場所等の情報収集はできているが、いけていないのが現状である</p>	<p>○ 家族の理解を求めて、家族へ依頼する。又、他入居者と職員にて行けるような人員配置を行う</p>
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>家族から電話・手紙があると変わっているが、入居者より電話をする事が少ない</p>	
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>来訪者があると、お茶等を出すようにしている。</p>	
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束は行っていないが、言葉にて制止しているときがある。</p>	<p>身体拘束・精神的な拘束の理解を求める（職員） 又緊急時、やむ得ない場合は家族へ説明してベッド策を挙げている場合がある、その際同意書を得ている</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠しないような工夫はしているが、一部の居室を施錠している。又、夜間のみ各ユニット施錠をしている	
67	○利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	夜間の巡回等はできているも日中、時折1階に下りたり3階に上がったりと所在確認ができていない状態である。	
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険な物品（ライター等）に関しては入居時に預かっている	アセスメントを行いリスクを防ぎたい
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故等があれば、その都度検討して対応策を検討している。又、リスクマネジメント・事故分析・等の勉強会は行っていない	○ 勉強会の実施
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当・急変時において対応できるスタッフに関して一部対応できる方とできない方がいる	○ 西宮消防局へ依頼して救急対応の説明を求める（年1回程度）
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難誘導のマニュアルはあり、非難訓練も実施している。水害・地震等のマニュアルはない	運営推進会議を通して地域の方々の理解を得て緊急時の協力を得ながらマニュアルを作成していきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p> <p>入居者の状態に応じて家族へはリスク・サービス内容を説明している</p>		継続して家族への理解を求めていく
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> <p>体調不良時に事業所の管理者へ報告して主治医に連絡を取っている状態であり主治医・管理者・介護職員にて情報の共有は行っている</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> <p>内服薬リストを作り誰でもわかるようにしている。内服薬の目的・副作用については各職員によりバラツキがある。</p>		薬剤管理指導にて薬局が入って頂いているので、薬剤師からの情報を共有できるように行う
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> <p>便秘の予防として水分補給・下剤（必要に応じて）運動促進を実施している</p>	○	食形態の工夫も行っていく
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p> <p>必要な方に応じて毎食後口腔ケアを行う人も居るが、基本的には起床時・就寝前に口腔ケアをしている。また週に1度、歯科往診にて口腔内の観察・口腔ケアをして頂いている</p>	○	基礎疾患・体調に応じて口腔ケアを毎食後行えるようにケアプランを作成する
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> <p>食事量・水分量は記録にて把握している。また嚥下状態・咀嚼状態に応じた食形態を確保している。</p>	○	栄養バランスにおいて、普通に自宅で生活する事を基本と考えているので、1日何カロリー摂取しているかは把握していない

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染マニュアルはある。ノロウイルスが発生した時にノロウイルスマニュアルを作成した	○	感染防止に向けて換気・手洗い・うがいを随時行っていく
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	手洗い・調理器具の衛生管理は実施できている		継続していく
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	各ユニットは施錠はしていないが、1階の出入りの口は安全の為施錠はしている	○	地域の協力・認知症の理解・徘徊ネットワーク作成の為、毎日外出して地域の方に顔を覚えてもらうように行い安全・安心に外出できるような環境づくりを行っていく
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間に花等は設置しているも四季折々の季節感等は感じられない。又、職員同士の声のトーン等が大きい時がある		共用空間（玄関に観葉植物を置き暖かく来訪者を迎えたい・また食堂に関して花を置くようにする
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間にて一人になれる場所がなく一人になれる場所が居室になってしまっている	○	今後は廊下等に椅子を設置して共用空間以外に1人で過ごせる場所を検討する。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居前に、本人が大切にしている物や、使用していた家具を持参して頂いている。</p>	
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>トイレ掃除は汚染されたら、その都度掃除をしている。空調管理についても、その都度の適温に設定している。</p>	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内部について、必要な場所には手すりを設置している。建物上の工夫として食堂を中心として居室を設置している</p>	<p>入居者が混乱しないよう食堂の周りに居室を設置しているので、居室から出てきた際に人が居るような環境整備はしている</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>入居時に「わかる事・できる事・わからない事・できない事」をアセスメントを行っているが、ケアプランへ反映できていない</p>	<p>○</p> <p>入居者自身の力を知りアセスメントを行いケアプランへ反映させる</p>
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>ベランダには自由に出れるが、楽しめる環境整備はしていない。また建物の外周には花等があるので、散歩等にて活用している</p>	<p>各ユニットのベランダにてプランター等を設置の検討</p>

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ○ ②少しずつ増えている ○ ③あまり増えていない ○ ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ○ ②職員の2/3くらいが ○ ③職員の1/3くらいが ○ ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ○ ②利用者の2/3くらいが ○ ③利用者の1/3くらいが ○ ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ○ ②家族等の2/3くらいが ○ ③家族等の1/3くらいが ○ ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

アネシス西宮では2階は認知症の重度にて生活支援・生活リハに力を入れ認知症進行抑制に努めている。
 3階では身体的に重度の方が多く、安心・安全に生活が送れるような支援を行っている。